

報道資料

平成22年9月28日
医師・看護師確保対策室
医師対策係 岡本・我妻
TEL 0742-27-8644
内線 3119

県立医科大学に地域医療学講座を設置します

医師不足の中で、必要な医療を適切に受けられる体制を整備するためには、医師が、能力を最大限に発揮できる環境を整備するとともに、医師を効率的に配置できるシステムの構築が求められています。

そのためには、県内の医療需要の分析を行い、各医療機関ごとの医療の提供目標を作成し、その目標を実現するために必要な医師を適切に配置することが必要です。

この取組を進めるために、奈良県と公立大学法人奈良県立医科大学は、「医師配置システム構築のための地域医療学講座の設置に関する協定」を締結し、奈良県立医科大学に「地域医療学講座」を設置します。

■【内容】

1. 設置の目的

適切かつ安定的に医師を配置するシステムを構築するための研究及び地域医療を担う医師の養成

2. 講座の名称 地域医療学講座

3. 設置時期 平成22年10月 1日

4. 主な研究内容

- 救急の重要疾患において各医療機関が提供すべき医療の提供目標を作成するための研究
- 県費奨学生等地域医療を担う医師のキャリアパスの構築及び支援についての研究

5. 講座教員

教授 松村雅彦（現 奈良県立医科大学 総合医療学講師）

【略歴】

昭和52年	3月	奈良県立医科大学卒業
昭和52年	11月	奈良県立医科大学第三内科（消化器内科） 及び県立五條病院 臨床研修医
昭和56年	5月	奈良県立医科大学第三内科 助手
昭和57年	12月	県立奈良病院救命救急センター医員
昭和59年	7月	奈良県立医科大学第三内科 助手
平成12年	4月	奈良県立医科大学総合医療学 講師 (現在に至る)
平成12年	2月	奈良県立医科大学医学博士

6. 県と県立医科大学との協定に基づく講座の特徴

県内の各地域における患者の発症者数などの医療ニーズを把握し、それらに対応できる地域の医療提供体制整備を確実にを行うため、県内の医療需要の分析を行い、各医療機関ごとの医療の提供目標を作成し、「**地域の医療需要と供給のバランスをとる**」ことを、県と県立医科大学は目指します。

そのために、県と県立医科大学は協定を締結して講座で研究を行い、その成果を踏まえて、地域医療の整備を行います。このような取組みは、**全国初**のものであります。

- 医療の地域偏在、診療科偏在の解消に取り組む
 - ・ 医療需要分析のポイント
診療科あるいは疾患別の患者数について、重症度や病期といった「難易度」を加味した需要を把握
 - ・ 医療供給分析のポイント
医療の供給は、医師数だけでなく、その医師の経験や他の医師やコ・メディカルの支援体制、あるいは施設・設備の状況等、色々な要因に左右されることから、総合的に評価

7. その他

地域医療学講座の運営に要する費用は、県が負担

医師配置システムの概要

最適な医師配置の設計図の作成

最適な医師配置の実施

平成22年度

地域医療学講座

(10月設置)

○救急の重要5疾患※において、各医療機関が提供すべき医療の提供目標を作成するための研究

○県費奨学生等地域医療を担う医師のキャリアパスの構築及び支援についての研究

○地域医療を担う医師の養成

研究成果

研究成果

公立病院等への対応

へき地診療所への対応

(仮)へき地診療所への医師配置を支援する協議会

(10月設置予定)

○へき地診療所への医師配置

発展的に解消

平成23年度以降

(仮)地域医療総合支援センター

(設計図作成の進捗状況を見極め設置)

○公立病院等への医師配置

○へき地診療所への医師配置

※救急の重要5疾患：脳卒中、急性冠症候群・心筋梗塞、重症外傷、急性腹症及び周産期疾患